しらべてみよう！たいせつな水のこと

第2回 全国小学生
「わたしたちのくらしと水」
かべ新聞コンテスト 2016

入賞作品集

主催：公益財団法人 セディア財団

後援：全国市町村教育委員会連合会 ／ 全国連合小学校長会／
全国小学校社会科研究協議会 ／ 全国小学校理科研究協議会／
日本初等理科教育研究会 ／ 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会／
全国新聞教育研究協議会 ／ 全国小中学校環境教育研究会

もくじ

主催者からのあいさつ……1
審査委員長総評……2
経過報告……3
審査結果……4
入賞作品ご紹介……7
応募校一覧……29
応募規定……31

主催者からのあいさつ

公益財団法人 セディア財団
理事長 渡邊 元

このたび、セディア財団では第2回全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテストの入賞作品集を発刊することとなりました。生活するために欠かせない大切な「水」について調べ、考える機会を作りたいという想いで、本コンテストは昨年より実施させていただいております。第2回の今回は、おかげさまで、全国から3，095作品もの力作が寄せられました。

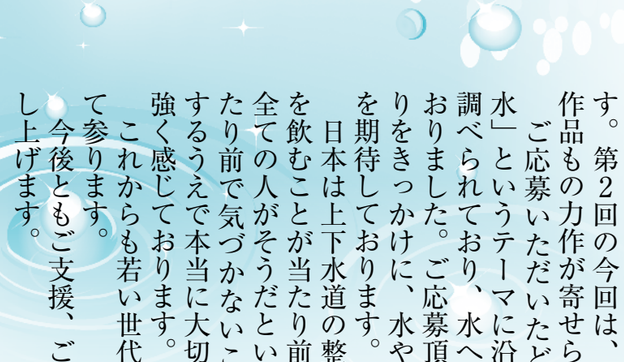
ご応募いただいたどの作品も、「わたしたちのくらしと水」というテーマに沿って、様々な視点で水について深く調べられており、水への想いや、感謝、尊さが表現されておりました。ご応募頂いた児童の皆さまには、この作品作りをきっかけに、水や自然に関する学びを深められることを期待しております。

日本は上下水道の整備が進んでおり、きれいで安全な水を飲むことが当たり前となっております。しかし、世界の全ての人がそうだということではありません。日本では当たり前で気づかないことだからこそ、「水」は人々が生活するうえで本当に大切なものということを伝える必要性を強く感じております。

これからも若い世代のために、このコンテストを継続して参ります。

今後ともご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人セディア財団より、賞状、盾、副賞の授与を行いました。



山形県 鶴岡市立黄金小学校 四年

前野　大雅さん　和田　洋斗さん
成澤　拓透さん　齋藤　玲偉さん
山口　歩夢さん　五十嵐　蓮さん
齋藤　真士さん　長谷川明璃さん
長谷川夢叶さん

大阪府 豊中市立野畑小学校

京都府 京都女子大学附属小学校

埼玉県 川口市立十二月田小学校

審査委員長総評

日本体育大学児童スポーツ教育学部教授
角屋 重樹

今回の審査にあたった先生方の主な意見をまとめると、以下のようになります。

まず第一は、全体にレベルの高い作品が多かったということです。

次に、①自分の体験や取材に基づいているか、②まとめとして自分の考えを書いているか、などは作品づくりに大変重要であり、こうした視点を大切にしてほしいということです。

さらに、皆さん方が自分の足で情報を収集し、そのようにして得た情報をテーマとの関係でうまく整理している作品が多くありましたが、このことが今後ますます大切になるので、より一層重視してほしいと思います。

最後に、初回と今回の2回のコンテストで、一般的に想定できるテーマはほとんど出てきたように思います。これからは、これまでにはなかったような斬新なものを期待しています。

なお、引用した資料、データ、写真等の出典の明記は、他の人が参考にするときに極めて大切なことです。そこで、いつでも、だれでも参考にした資料を見ることができるように、著者、資料や本の題名、出版年、ページなどを明記するようにしてください。

経過報告

作品募集

全国の小学校5千校に対し、2016年5月25日からご案内チラシ・ポスター・応募の手引き等の発送を開始。また、日本経済新聞(6月20日)に募集広告を掲載しました。
7月には、セディア財団活動報告書「Mizu Mirai(みずみらい)」とともに、再度上記の5千校にご案内チラシ・ポスターを送付するとともに、後援各団体への募集協力依頼と、事務局(プラスエム)のネットワークを通じて、全国の小学校に応募を呼びかけました。

応募総数

2016年10月11日(火)の作品応募締め切り日までに、全国の小学生から3,095作品(95校)もの力作が集まりました。

応募部門	応募数
小学校低学年の部	44作品
小学校高学年の部	3,051作品
応　募　総　数	3,095作品

一次審査会

[開催日]　2016年11月1日（火）
部門(低学年／高学年)ごとに審査を行い、最終審査会ノミネート作品42作品(低学年5作品、高学年37作品)と、努力賞候補作品を選考。また、学校奨励賞には、優秀な作品を多数応募した学校3校の推薦を行いました。

最終審査会

[開催日・場所]　2016年11月28日(月)　日本経済新聞社東京本社
一次審査会で絞り込まれたノミネート作品42作品について厳正な審査を行い、各賞を決定しました。
※賞と賞品は31ページ参照
※一次審査会で選ばれた「努力賞」候補作品65作品を承認しました。
※一次審査会から推薦があった学校奨励賞3校を承認しました。

最終審査委員
(順不同・敬称略)

角屋 重樹	日本体育大学児童スポーツ教育学部教授(審査委員長)
北　俊夫	国士舘大学体育学部教授
月岡 正明	全国小学校社会科研究協議会会長
関根 正弘	全国小学校理科研究協議会会長
齊藤　純	全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長
小林 豊茂	全国新聞教育研究協議会会長
渡邊　元	公益財団法人セディア財団理事長

審査結果

最優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
山　形　県	鶴岡市立黄金小学校	4年	前野　大雅・和田　洋斗 成澤　拓透・齋藤　玲偉 山口　歩夢・五十嵐　蓮 齋藤　真士・長谷川明璃 長谷川夢叶	里の清水

優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
			低学年の部	
岩　手　県	雫石町立下長山小学校	3年	土樋　　燕	しずく
			高学年の部	
東　京　都	墨田区立小梅小学校	4年	杉野梨花子・大谷　敦也 中村美羽音・佐藤　佑莉 熊谷　　謙・岡崎　百花 野本　源太・奈良　隆平 髙橋　叶多・阿部　　司 橋本　優羽	WATER
神奈川県	横浜市立馬場小学校	4年	澁谷　拓利	水新聞
京　都　府	京都女子大学附属小学校	4年	中村　友亮	京都の水新聞

準優秀賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
			低学年の部	
神奈川県	横浜市立日吉南小学校	2年	板橋　幸志	水新聞
			高学年の部	
宮　城　県	東松島市立矢本東小学校	4年	斎藤　瑠七	水活新聞
東　京　都	墨田区立小梅小学校	4年	小池　志帆	私たちと水新聞
神奈川県	横浜市立桂小学校	4年	井上　陽香	水の秘密新聞
新　潟　県	燕市立吉田小学校	4年	江口　郁眞	生命と水新聞
兵　庫　県	神戸市立魚崎小学校	4年	森　　紗弥	水は友達
兵　庫　県	養父市立八鹿小学校	4年	志波　一帆	水は大切新聞
岐　阜　県	養老町立広幡小学校	5年	栗田　佳葉	人と水新聞
熊　本　県	益城町立広安西小学校	5年	黒木紅智那・西　陽和莉	ウォータースクールズ in 益城
熊　本　県	益城町立広安西小学校	5年	糸数　海優・桑原　朱音 永田　晋梧・原田　吏都 村上　　柊	L et's 水授業

佳　作

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
			低学年の部	
千　葉　県	千葉市立園生小学校	2年	中村　羽那	水と人新聞
東　京　都	江戸川区立篠崎第三小学校	2年	中田　侑那	水はすごい！
			高学年の部	
福　島　県	郡山ザベリオ学園小学校	4年	横山　康穂	わたしたちのくらしと水新聞
千　葉　県	千葉市立園生小学校	4年	神野　百香	世界の水事情
千　葉　県	木更津市立金田小学校	4年	石井　知樹	くらしと水
千　葉　県	柏市立酒井根小学校	4年	佐藤　璃菜	わたしたちの水新聞
東　京　都	墨田区立小梅小学校	4年	中村　美涼	ウォーター新聞
神奈川県	川崎市立古川小学校	4年	田中　優衣	きれいな水を作る浄水場
新　潟　県	村上市立西神納小学校	4年	小川あいな	わたしたちの大切な水
群　馬　県	桐生市立梅田南小学校	4年	前原　彩良	旅する水
群　馬　県	桐生市立梅田南小学校	4年	前原　桜子	大切な水
岐　阜　県	養老町立広幡小学校	4年	久保田隼翔	くらしの水新聞
兵　庫　県	神戸市立魚崎小学校	4年	池澤　杏夏・神田　　葵	～神戸の水はどうなっているの？～水は私たちのために
兵　庫　県	神戸市立美野丘小学校	4年	西川　克翔	水新聞Ｘ
岡　山　県	岡山市立御津小学校	4年	中原　聡大	紙工・水新聞
佐　賀　県	佐賀市立西川副小学校	4年	木原　月乃	大切な水新聞
宮　城　県	東松島市立矢本東小学校	6年	野口亜莉紗・佐々木瑠佳 堀田　美咲	水の大研究新聞
千　葉　県	船橋市立飯山満小学校	6年	大隈　慧寧	friend　friend　in　水
千　葉　県	船橋市立飯山満小学校	6年	奈良　美音	水は大切新聞
千　葉　県	船橋市立飯山満小学校	6年	楢崎　陽菜	スマイルウォーター

努力賞

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
			低学年の部	
神奈川県	横浜市立青木小学校	1年	河瀬　りら	わたしたちのくらしと水しんぶん
埼　玉　県	川口市立前川東小学校	2年	谷口　翔一	ムサシトミヨ新聞
神奈川県	横浜市立青木小学校	2年	乙幡　風人	水とごはん新聞
三　重　県	度会町立度会小学校	3年	中森美葉流	水がつかめる実けん
広　島　県	広島大学附属小学校	3年	大久保果澄	雨水貯留池たんけん新聞
			高学年の部	
宮　城　県	仙台市立宮城野小学校	4年	宇都　七海	浄水場のかがやき新聞
宮　城　県	仙台市立宮城野小学校	4年	山口　采華	ウォーターパーク新聞
宮　城　県	仙台市立西多賀小学校	4年	恵美須　和	浄水場の調べ新聞
宮　城　県	仙台市立西多賀小学校	4年	佐藤　柚香	水のひみつ？
宮　城　県	塩竈市立第一小学校	4年	長澤　昂樹	きれいなお水新聞
群　馬　県	桐生市立梅田南小学校	4年	登山　衣舞	水は大切
埼　玉　県	川口市立十二月田小学校	4年	橋場　笛乃	水のひみつ新聞
埼　玉　県	久喜市立砂原小学校	4年	新井煌乃香	水道の水は大切に
千　葉　県	千葉市立園生小学校	4年	余田　心海	水新聞　井戸って何？昔のくらしと水
千　葉　県	船橋市立高郷小学校	4年	伊藤　彩乃	水の一生新聞
千　葉　県	船橋市立高郷小学校	4年	後藤　亜弥	水大すき
千　葉　県	船橋市立高郷小学校	4年	清水　菜希	私たちの大切な水新聞
千　葉　県	木更津市立金田小学校	4年	桐谷美沙季	水だより
千　葉　県	柏市立柏第五小学校	4年	加賀　姫菜	水のぎもん新聞
千　葉　県	柏市立酒井根小学校	4年	田中亜稀穂	みず新聞
千　葉　県	柏市立酒井根小学校	4年	湯浅菜々実	水ぶそくについて
千　葉　県	柏市立西原小学校	4年	佐藤　碧里	水道新聞
千　葉　県	市原市立有秋東小学校	4年	黒畑　涼世	ウォーター新聞
神奈川県	横浜市立桂小学校	4年	今野　藤子	生き物と水新聞
神奈川県	横浜市立桂小学校	4年	根本　小想	水のいろんなギモン新聞
神奈川県	横浜市立新吉田第二小学校	4年	井上　絢葉	ウォーター新聞
神奈川県	川崎市立古川小学校	4年	石井心乃香	水は空からの贈り物新聞
神奈川県	川崎市立古川小学校	4年	関根　　凜	水新聞
新　潟　県	燕市立吉田小学校	4年	関川　舞七	よごれた水がきれいになるまで
山　梨　県	山梨市立日川小学校	4年	柳場　　弥	節水のススメ新聞
長　野　県	伊那市立伊那北小学校	4年	松澤　亜夢	大切な水新聞
愛　知　県	豊橋市立東田小学校	4年	岩瀬　結海	みんな大切！！水新聞
愛　知　県	豊橋市立東田小学校	4年	佐久間晴菜	水は大切！！！
愛　知　県	岡崎市立矢作東小学校	4年	河合　真央	浄水場新聞
愛　知　県	豊川市立桜町小学校	4年	内田　遥香	水道まんさい新聞
愛　知　県	豊川市立桜町小学校	4年	金沢　花音	水道水のひみつ新聞
愛　知　県	稲沢市立国分小学校	4年	加藤　実葉	水は大切に！！
愛　知　県	稲沢市立国分小学校	4年	山田　公祐	水を大切にしよう新聞
京　都　府	京都女子大学附属小学校	4年	角　早耶香	くらしと水新聞
大　阪　府	豊中市立野畑小学校	4年	大森　　和	水～water～新聞
大　阪　府	豊中市立野畑小学校	4年	山﨑　　優	もっとくわしく知りたい新聞
大　阪　府	豊中市立野畑小学校	4年	山城　穂波	川と人々のくらし
大　阪　府	八尾市立高安小学校	4年	寺西　京美	わたしたちの水新聞
大　阪　府	八尾市立高安小学校	4年	毎川　錬自	水はすごい新聞
大　阪　府	八尾市立高安小学校	4年	吉田　　心	大事な水新聞
大　阪　府	寝屋川市立桜小学校	4年	兵頭　貫汰	水特集新聞
兵　庫　県	神戸市立魚崎小学校	4年	西田かのこ	わたしの家の水道水はどこから？
兵　庫　県	神戸市立魚崎小学校	4年	松本　和葉	くらしにぜったいひつ要な水新聞
兵　庫　県	神戸市立美野丘小学校	4年	工藤しゅり	天のめぐみ
兵　庫　県	神戸市立美野丘小学校	4年	樋口　莉央	地球の水新聞
兵　庫　県	赤穂市立高雄小学校	4年	釜増　莉緒・平戸　花音 安原　拓望	水はどれだけ大切か新聞
広　島　県	江田島市立江田島小学校	4年	向井　有沙・武田　康希 北尾　玄徳・竹下　陽菜	くらしをささえる水新聞
岡　山　県	瀬戸内市立牛窓東小学校	4年	髙田　真緒	大事にする！！お水新聞
佐　賀　県	佐賀市立西川副小学校	4年	田中　麗美	佐賀の水
大　分　県	中津市立今津小学校	4年	浅田紗宮耶	みんなのダム新聞
大　分　県	中津市立今津小学校	4年	江島　若菜	若菜新聞
大　分　県	中津市立今津小学校	4年	小林ひより	やばけいダム新聞
鹿児島県	鹿児島市立鴨池小学校	4年	中原叶和子	守ろう水新聞
京　都　府	京都市立樫原小学校	5年	米澤　咲那・石垣　成菜 東田　実優	アクアプロテクト新聞～水を守ろう～
熊　本　県	益城町立広安西小学校	5年	水上　妃羅・舛田　彩香	自然の水新聞
千　葉　県	千葉市立園生小学校	6年	中村　桃子	水と歴史新聞
千　葉　県	千葉市立園生小学校	6年	福田　杏実	命の水新聞
千　葉　県	成田市立津富浦小学校	6年	飯田　　響	水博士新聞～水マイスターになろう！～
神奈川県	相模女子大学小学部	6年	船木　未宇	世界の水達
愛　知　県	豊橋市立岩田小学校	6年	田中　音羽	わたしたちに必要な水

学校奨励賞

都道府県	学校名
埼　玉　県	川口市立十二月田小学校
京　都　府	京都女子大学附属小学校
大　阪　府	豊中市立野畑小学校

入賞作品ご紹介

最優秀賞	……	1作品
優秀賞	……	4作品
準優秀賞	……	10作品
佳作	……	20作品

最優秀賞を受賞した 鶴岡市立黄金小学校4年生のみなさん

前野大雅さん

和田洋斗さん

成澤拓透さん

齋藤玲偉さん

山口歩夢さん

五十嵐蓮さん

齋藤真士さん

長谷川明璃さん

長谷川夢叶さん

2016年（平成28年）12月20日発行　日本経済新聞掲載

最優秀賞

「里の清水」

山形県　鶴岡市立黄金小学校　四年

前野大雅・和田洋明
成澤拓透・齋藤玲璃
山口歩夢・五十嵐蓮偉斗
齋藤真士・長谷川明玲
長谷川夢叶

受賞者の声

私たちは、総合的な学習の時間を使って、「閼伽井（あかい）の清水」というわき水について学習しています。一学期から学習をはじめて、みんなで協力して実験や体験をし、分かったことを新聞にまとめました。最優秀賞を目標に取り組んだので、受賞を知った時は、本当にうれしかったです。里の清水新聞で、閼伽井の清水のおいしさ、すごさを知ってほしいです。

選評

「里の名水百選」に指定された地元のわき水について、インタビューやアンケート、実験などの方法で多方面から取材活動を行っています。見出しや記事のレイアウトも優れており、読者の関心を引きつける構成になっています。九人のメンバーが協力し合って取り組んだ結果だと言えます。

指導の先生から

私たちの学校区には、「閼伽井の清水」というわき水があります。このとてもおいしいわき水を有名にすることをテーマに、学習したことを新聞にまとめました。疑問に思ったことを地域の方にインタビューしたり、自分たちで実験したり、私も子どもたちも知らなかったことがたくさんあり、勉強になりました。この新聞を読んで、少しでも多くの人に「閼伽井の清水」を知ってもらえるとうれしいです。

優秀賞

低学年の部

「しずく」

岩手県　雫石町立下長山小学校　三年
土樋　燕

選評

人間の体の約60%が水分であることや、植物にとっても水が必要であることに目をつけた、着想力の素晴らしい作品です。また、毎日の暮らしの中での節水方法について、数字を示しながら訴えているところは説得力があります。

受賞者の声

私は、このコンクールで優秀賞を受賞できて、とてもうれしかったです。私は、夏休みの自由研究で「水」について調べて、さまざまなことを知ることができました。世界では、きれいな水が飲めない国がたくさんあったり、浄化槽のしくみを知ったり、さまざまなことを学習しました。日本では、蛇口をひねるとすぐきれいでおいしい水が出てくるけど、世界ではそうでない国がたくさんあることにおどろきました。また、人間は何も食べないと1週間しか生きられないけれど、水さえ飲んでいれば3倍も生きられることを知り、とても不思議でした。その他にも、私たちが飲んでいる水は、もとをたどっていくと雨だということも知り、びっくりしました。水はとても大切なんだなあ～と思いました。

これからは、貴重で大切な水をムダにしないように、節水などをして大切に使いたいと改めて思いました。

優秀賞

高学年の部

「WATER」

東京都　墨田区立小梅小学校　四年
杉野梨花子・大谷敦也
中村美羽音・佐藤佑莉
熊谷謙・岡﨑百花
野本源太・奈良隆平
髙橋叶多・阿部司
橋本優羽

選評

身近な地域に見られる雨水を溜める施設を調べ、雨水利用という先人の知恵を紹介している点が素晴らしいです。見出しや写真、イラストもバランスよく配置されています。全員が協力して取り組んだ様子が伝わってきます。

受賞者の声

私たちはみんなで、雨水利用について調べました。自分たちが住んでいる墨田区では、雨水を利用して節水している事を初めて知りました。

作っている途中、記事をまとめるのが大変で困る場面がありましたが、みんなで分担し力を合わせてがんばりました。みんなのおかげで受賞することができました。

優秀賞

高学年の部

「水新聞」

神奈川県　横浜市立馬場小学校　四年

澁谷　拓利

選評

全体が3ページで構成された労作です。水に関して、飲み水、川の水、歴史と下水など様々な視点から詳しく調べ、ページごとに分かりやすくまとめられています。見出しと記事と写真や図などが、見やすく配置されています。

受賞者の声

すばらしい賞をいただいて、とてもうれしいです。横浜市西谷浄水場での校外学習がきっかけで「もっともっと水のことを詳しく知りたい」と思いました。水道博物館に行ったり、図書館で資料を探したりして、新聞記者のように取り組むことができて、とても楽しく新聞を書くことができました。この新聞を読んでもらうことで、水の大切さが多くの人に伝わればいいなと思いました。

優秀賞

高学年の部

「京都の水新聞」

京都府　京都女子大学附属小学校　四年

中村　友亮

選評

京都ならではの水事情がよく紹介されています。水と暮らしや産業との関わりに触れられている点が良いと思います。バーチャルウォーターの解説や、「雨水しんとうます」の模型製作と実験のコラムは素晴らしいアイデアです。

受賞者の声

受賞できてとてもうれしいです。前にお父さんと蹴上浄水場に行った時、京都の水が琵琶湖から来ていると知って、なぜだろうと思ったことと、近所にあった山ノ内浄水場はかっこいい建物だったとお母さんが言っていたことを思い出して、京都の水をテーマに選びました。壁新聞にまとめるのに、絵や実験をしておもしろかった雨水ますの話を入れて、伝わりやすいように工夫しました。みんなに京都の水のことを知ってもらって、みんなで水を大切にしたいです。機会があったら、日本や世界の水も調べたいです。

準優秀賞

低学年の部

「水新聞」

神奈川県　横浜市立日吉南小学校　二年

板橋幸志

選評

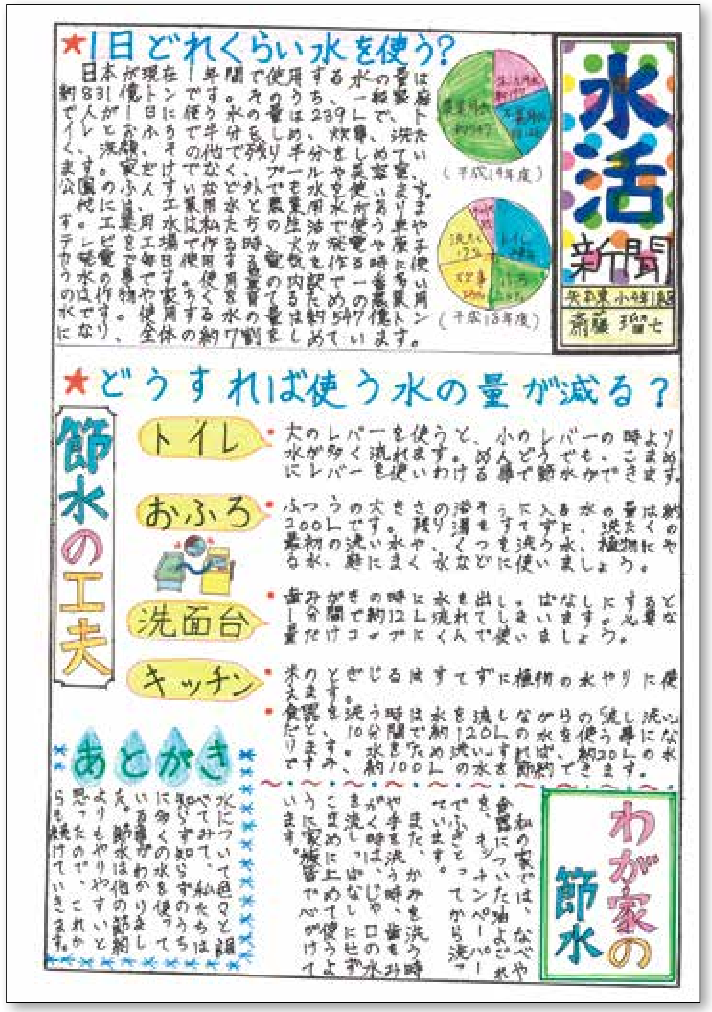
料理に欠かせない重要なアイテムとしての「水」に焦点を当てるという、斬新な視点での新聞です。様々な角度から調べ、丁寧に字を書き、分かりやすく見やすい図を使って上手にまとめています。

高学年の部

「水活新聞」

宮城県　東松島市立矢本東小学校　四年

斎藤瑠七



選評

私たちの生活にはいかに大量の水が必要かを調べてまとめた上で、どうすれば節水ができるか、誰にでもできる工夫を具体的に示してくれました。水を大切にしようという意気込みが感じられます。

準優秀賞

高学年の部

「私たちと水新聞」

東京都　墨田区立小梅小学校　四年

小池志帆

選評

読み手に語りかけるような表現で、いつの間にか新聞に引き込まれてしまいました。体内の水の大切さを分かりやすくまとめています。

「水の秘密新聞」

神奈川県　横浜市立桂小学校　四年

井上陽香

選評

飲用できるきれいな水が無駄にたくさん流されている現状を知った筆者の節水への工夫や努力への訴えが、強く伝わってきました。

準優秀賞
高学年の部

「生命と水新聞」

新潟県　燕市立吉田小学校　四年

江口郁眞

選評　自分の町の大河津分水や様々な水力発電について調べ、水をコントロールすることが生命の営みに恩恵を与えることを上手に伝えました。

「水は友達」

兵庫県　神戸市立魚崎小学校　四年

森紗弥

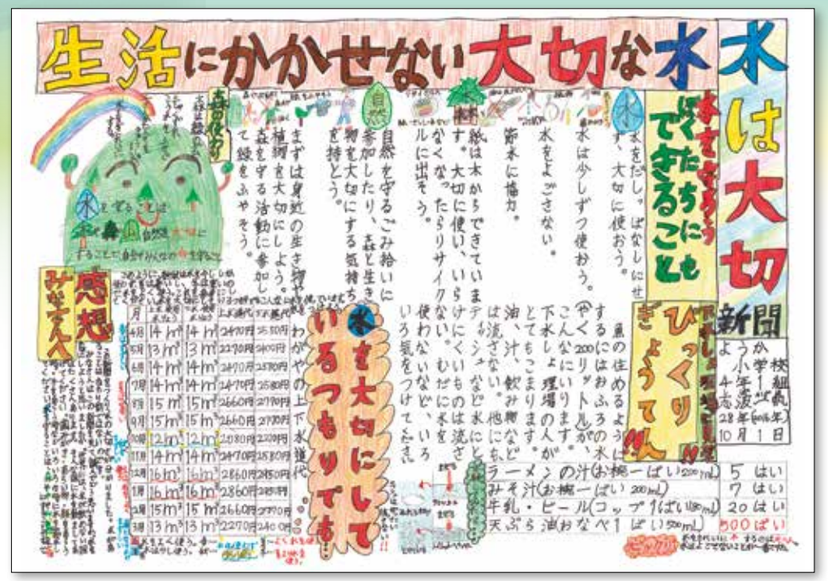
選評　水不足、水の確保、水質、水道の歴史、節水など、様々な視点から水の大切さを伝える内容になっていて、よく分かりました。

準優秀賞
高学年の部

「水は大切新聞」

兵庫県　養父市立八鹿小学校　四年

志波一帆



選評　我が家の上下水道代を１年間調べた結果から考えたこと、伝えたいことを記事にまとめ、身近で親しみやすい新聞になりました。

「人と水新聞」

岐阜県　養老町立広幡小学校　五年

栗田佳葉

選評　水道水と井戸水の違いに興味をもって調べ、それぞれの良さを生かした上手な使い分けについての考えがよく表れている新聞です。

準優秀賞

高学年の部

「ウォータースクールズ in 益城」

熊本県　益城町立広安西小学校　五年
黒木紅智那・西陽和莉

選評

昔と今の水の違いから、日頃当たり前のように使っている学校の水に関連させ、工夫を凝らし、流れるような新聞構成になっています。

「Let's 水授業」

熊本県　益城町立広安西小学校　五年
糸数海優・桑原朱音
永田晋梧・原田吏都
村上柊

選評

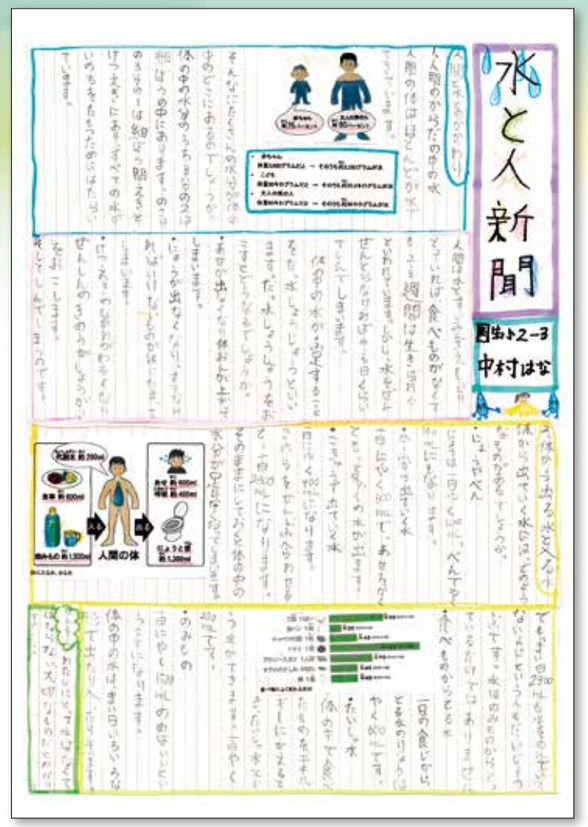
六つの記事が前の話題を受けて次々と展開され、自作のキャラクターもかわいらしく、大変読みやすい新聞に仕上がっています。

佳作

低学年の部

「水と人新聞」

千葉県　千葉市立園生小学校　二年
中村羽那



選評

人間の身体にとって水がどんなに大切なものであるか、よく調べてまとめることができました。具体的な数を示して記事にしたことで、分かりやすくなりました。

「水はすごい!」

東京都　江戸川区立篠崎第三小学校　二年
中田侑那

選評

昔は井戸水を使っていたのが、今では水道になり、生活も便利になって、想像以上に大量の水を使っていることへの侑那さんの驚きがよく伝わってくる新聞です。

佳作
高学年の部

「わたしたちのくらしと水新聞」

福島県　郡山ザベリオ学園小学校　四年

横山康穂

選評

日本三大疏水の一つである安積疏水の見学で学んだことを、地図等をうまく使って上手にまとめました。調べたことで地元への愛着が深まったことが、よく伝わってきました。

「世界の水事情」

千葉県　千葉市立園生小学校　四年

神野百香

選評

日本人にとって当たり前である「水が飲める」ということが世界では当たり前ではない、だから日本の水事情にもっと感謝しよう、という百香さんの主張が強く伝わってくる新聞です。

佳作
高学年の部

「くらしと水」

千葉県　木更津市立金田小学校　四年

石井知樹

選評

浄水場で学んだ飲む水の大切さだけでなく、生活環境にある盤州干潟のきれいな水を町の宝物として紹介するなど、木更津の町に対する愛情あふれる記事が素敵です。

「わたしたちの水新聞」

千葉県　柏市立酒井根小学校　四年

佐藤璃菜

選評

水の循環で、大切なはたらきをする水源林、浄水場、そして下水処理場を取り上げ、それぞれの役割を記事にしていました。見出しも工夫しています。

佳作
高学年の部

「ウォーター新聞」

東京都　墨田区立小梅小学校　四年

中村美涼

選評

大切な水を節水することを見る人に呼びかける新聞になっていました。節水は節電にもなることは、とてもよい視点だと思います。

「きれいな水を作る浄水場」

神奈川県　川崎市立古川小学校　四年

田中優衣

選評

よごれの多い湖や川の水をきれいにする浄水場のはたらきに焦点を当て、新聞記事を作っています。様々な工夫と人々の努力にも触れられています。

佳作
高学年の部

「わたしたちの大切な水」

新潟県　村上市立西神納小学校　四年

小川あいな

選評

浄水場を見学して体験したことや聞き取りなどをし、分かったことや感じたことを記事に生かしているのがよかったです。

「旅する水」

群馬県　桐生市立梅田南小学校　四年

前原彩良

選評

新聞の見出しの付け方を、見る人の目を引くように工夫しています。浄水場のはたらきも分かりやすくまとめています。

佳作
高学年の部

「大切な水」

群馬県　桐生市立梅田南小学校　四年

前原桜子

選評

浄水場にはたくさんの池があることや、きれいな水になるまでのしくみについて、ていねいに分かりやすくまとめてくれました。

「くらしの水新聞」

岐阜県　養老町立広幡小学校　四年

久保田隼翔

選評

水の硬度や残留塩素について、実際に実験して調べたことは大変素晴らしいです。新聞の形式にすることを意識できると、さらによい作品になります。

佳作
高学年の部

「～神戸の水はどうなっているの？～　水は私たちのために」

兵庫県　神戸市立魚崎小学校　四年

池澤杏夏・神田葵

選評

「神戸の歴史」「水道料金の違い」など、調べた結果が伝わってきました。記事の内容に合わせた４コママンガ、ナイスアイディアです。

「水新聞X」

兵庫県　神戸市立美野丘小学校　四年

西川克翔

選評

浄水場に出向き、実際に見学や体験をした取材記事。その写真とコメントに説得力を感じました。編集後記の文章が光っていました。

佳作
高学年の部

「紙工・水新聞」

岡山県　岡山市立御津小学校　四年

中原聡大

選評

めあてを2つに絞り、それぞれ的確にまとめてありました。紙工浄水場へ出かけ、自ら得た確信ある記事でした。写真も良かったです。

「大切な水新聞」

佐賀県　佐賀市立西川副小学校　四年

木原月乃

選評

農作物と水、水と田んぼ、農地と水など、身近な生活と関連づけての記事でした。水の再利用にふれての「読者の声」Ｇｏｏｄでした。

佳作
高学年の部

「水の大研究新聞」

宮城県　東松島市立矢本東小学校　六年

野口亜莉紗・佐々木瑠佳

堀田美咲

選評

「水の大研究新聞」の題字の如く、研究レポートのような内容でした。蛇口を止めた時の水量、皆さんにも知ってほしいですね。

「ｆｒｉｅｎｄ　ｆｒｉｅｎｄ　ｉｎ　水」

千葉県　船橋市立飯山満小学校　六年

大隈慧寧

選評

新聞形式の基本的段組、見出しの字体の工夫など、レイアウトが素晴らしい作品です。「水の守り方」の５項目「なるほど…」です。

佳作 高学年の部

「水は大切新聞」

千葉県　船橋市立飯山満小学校　六年

奈良美音

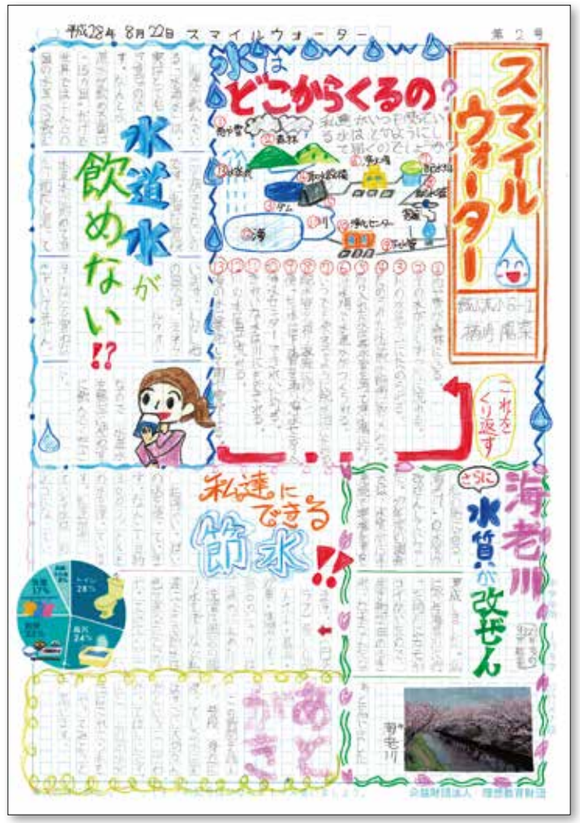
選評

水の使用量をあらわした円グラフ、記事がより一層視覚的になり伝わってきました。災害時の水を取り上げたことも、良い視点だと思います。

「スマイルウォーター」

千葉県　船橋市立飯山満小学校　六年

楢崎陽菜



選評

端的かつ内容がサッと伝わってくる見出しでした。きっと「身近に使っている水が実はすごく大切」と読み手に伝わったことでしょう。

応募校一覧

都道府県	学校名
千葉県	成田市立津富浦小学校
	柏市立柏第五小学校
	柏市立酒井根小学校
	柏市立西原小学校
	市原市立有秋東小学校
	四街道市立山梨小学校
東京都	墨田区立小梅小学校
	世田谷区立砧南小学校
	中野区立大和小学校
	江戸川区立篠崎第三小学校
	江戸川区立西葛西小学校
	聖徳学園小学校
	青梅市立今井小学校
	調布市立多摩川小学校
	国立学園小学校
神奈川県	横浜市立青木小学校
	横浜市立桂小学校
	横浜市立小坪小学校
	横浜市立新吉田第二小学校
	横浜市立馬場小学校
	横浜市立日吉南小学校
	川崎市立古川小学校
	川崎市立宮内小学校
	相模女子大学小学部
	平塚市立岡崎小学校

都道府県	学校名
北海道	札幌市立東札幌小学校
岩手県	雫石町立下長山小学校
宮城県	仙台市立西多賀小学校
	仙台市立八本松小学校
	仙台市立宮城野小学校
	塩竈市立第一小学校
	東松島市立矢本東小学校
山形県	鶴岡市立黄金小学校
福島県	福島市立笹谷小学校
	郡山ザベリオ学園小学校
	田村市立船引小学校
茨城県	北茨城市立関本小学校
	神栖市立波崎西小学校
栃木県	大田原市立金丸小学校
群馬県	桐生市立梅田南小学校
埼玉県	川口市立芝小学校
	川口市立十二月田小学校
	川口市立前川東小学校
	春日部市立豊野小学校
	久喜市立砂原小学校
千葉県	千葉市立園生小学校
	船橋市立高郷小学校
	船橋市立飯山満小学校
	木更津市立金田小学校
	聖徳大学附属小学校

応募校一覧

都道府県	学校名
兵庫県	神戸市立美野丘小学校
	赤穂市立高雄小学校
	養父市立八鹿小学校
奈良県	橿原市立金橋小学校
岡山県	岡山市立御津小学校
	玉野市立後閑小学校
	瀬戸内市立牛窓東小学校
広島県	広島大学附属小学校
	江田島市立江田島小学校
愛媛県	大洲市立新谷小学校
福岡県	筑紫野市立原田小学校
	岡垣町立内浦小学校
佐賀県	佐賀市立西川副小学校
熊本県	大津町立室小学校
	益城町立広安西小学校
大分県	中津市立今津小学校
鹿児島県	鹿児島市立伊敷小学校
	鹿児島市立鴨池小学校
	知名町立田皆小学校
沖縄県	名護市立久志小学校

合計 95校

都道府県	学校名
新潟県	三条市立月岡小学校
	村上市立西神納小学校
	燕市立吉田小学校
山梨県	山梨市立日川小学校
長野県	伊那市立伊那北小学校
	箕輪町立箕輪西小学校
岐阜県	養老町立広幡小学校
静岡県	静岡市立清水岡小学校
	浜松市立尾奈小学校
	暁秀初等学校小学校
愛知県	豊橋市立岩田小学校
	豊橋市立東田小学校
	岡崎市立矢作東小学校
	豊川市立桜町小学校
	稲沢市立国分小学校
三重県	桑名市立日進小学校
	度会町立度会小学校
京都府	京都市立樫原小学校
	京都女子大学附属小学校
	京都教育大学附属桃山小学校
大阪府	大阪市立中央小学校
	豊中市立野畑小学校
	八尾市立高安小学校
	寝屋川市立桜小学校
兵庫県	神戸市立魚崎小学校

応募規定

タイトル

第2回 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト2016

主　催

公益財団法人 セディア財団

後　援

全国市町村教育委員会連合会、全国連合小学校長会、全国小学校社会科研究協議会、全国小学校理科研究協議会、日本初等理科教育研究会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、全国新聞教育研究協議会、全国小中学校環境教育研究会

テーマ

「わたしたちのくらしと水」
〈テーマ例〉
○ 学校や家で使う水はどこからくるのかな？
○ 使ったあとの水はどうなるの？
○ 井戸ってなに？むかしの水とくらし
○ わたしたちの地域の水じまん
○ 世界の国の水事情
○ 水の不思議を探してみよう
○ 植物や作物などを上手に育てる水のやり方
○ 家族でチャレンジ！節水とエコ

応募方法

1．応募作品には、次の事項を明記した裏面の応募票を貼付してください。
　〇応募部門　〇作品の題名　〇学校名　〇学年
　〇氏名(グループの場合は全員の氏名)
　〇担当教諭名　〇学校所在地
　〇学校の電話番号　〇保護者等の支援について
※学校でまとめて応募する場合、同封の学校応募用紙にご記入の上、封筒の表面に「応募部門ごとの点数」を大きく朱書きしてください。その場合、各作品の裏面に学校応募用紙の応募番号、学校名、学年、氏名を記入してください。
※応募票はセディア財団のホームページからもダウンロードできます。
2．作品は新聞形式のもので、もぞう紙・学習新聞用紙など大きさは自由とします(タテ書き・ヨコ書き自由)。なお、低学年の部では、絵日記風の新聞でも可とします。
3．画材は自由で、カラーまたはモノクロも問いません。また、イラスト・マンガ・写真など自由に入れてください。
4．手書きまたはパソコン・デジタルカメラ等を使用して制作してください。

応募部門

低学年の部(小学1年生～3年生)
高学年の部(小学4年生～6年生)

締め切り

2016年10月11日(火)(当日消印有効)

発表

2016年12月予定
(日本経済新聞／主催者のホームページ)

賞と賞品

1)個人賞・グループ賞
　1．最優秀賞：全応募作品から1作品
　　賞状、盾、副賞(図書カード5万円分)
　2．優 秀 賞：両部門計4作品　賞状、盾、副賞
　　(図書カード2万円分)
　3．準優秀賞：両部門計10作品
　　賞状・副賞
　　(図書カード5千円分)
　4．佳　　作：両部門計20作品
　　賞状、副賞
　　(図書カード千円分)
　5．努 力 賞：両部門計65作品
　　賞状、副賞
　　(図書カード5百円分)
2)学校賞
　学校奨励賞　　2校
　＊審査の結果受賞校を3校としました。
3)参加賞
　応募者全員に記念品

水から学んだこと。
自然から学んだこと。
未来にとって大切なこと。

さあ、一緒に話し合いましょう。

セディア財団は、
水・農業・自然の大切さを
子どもたちに伝える活動を
展開しています。

人は自然とともに暮らし、自然から多くのことを学んで大人になってきました。しかし利便性や効率だけを優先して突き進むわたしたちの社会は、便利になったけれど、その分、自然と接する場所がどんどん消えている状況にあります。これはしあわせな状況なのでしょうか?いつの時代も、自然は偉大な教師。自然との共存なくして、しあわせな暮らしは成り立ちません。大切なのは、気づくことです。セディア財団は気づきの場を提供することからはじめます。すべてのはじまりである「水」を中心に、自然の大切さ、自然からの学びの尊さを発信し、学びの場となる活動を行っています。「かべ新聞コンテスト」の開催もそのひとつ。かべ新聞の制作を通して、子どもたちに“水の大切さ”に気づいてほしいという願いを込めてスタートいたしました。自然からの学びを、よりよい未来づくりへ活かすために、セディア財団は水・農業・自然の未来へ繋がる、さまざまな活動を展開します。

SEDIA Foundation

第2回 全国小学生
「わたしたちのくらしと水」
かべ新聞コンテスト 2016

公益財団法人 セディア財団
〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号　浜離宮パークサイドプレイス6F
TEL：03-3549-3090　FAX：03-5565-6374
http://www.sedia-found.org

いつもありがとうございます

〈お問い合わせ先〉

全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト事務局（プラスエム内）
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-17-6　群成舎八丁堀ビル 6 階
TEL：03-6222-5251　FAX：03-6222-4823　E-mail：mizu-shinbun@plus-m.co.jp